【セッションNo. 1】

VCLを使用した Windowsタブレット向けアプリ構築術

株式会社ミガロ. RAD事業部 技術支援課







- Delphi/400におけるモバイルアプリ開発
- Windowsタブレットの特徴
- VCLを使用したWindowsタブレットアプリ構築術

2

- カスタムソフトキーボードの作成
- 入力項目に最適化した入力欄の作成
- カメラの活用
- QRコードスキャン
- まとめ



Delphi/400における モバイルアプリ開発



■ Delphi/400におけるモバイルアプリ開発

- VCL¿FireMonkey
 - VCL
 - 25年以上にわたって活用されているWindowsアプリ構築用フレームワーク
 - FireMonkey
 - Delphi XEシリーズより登場したマルチデバイスアプリ構築用フレームワーク



■ Delphi/400におけるモバイルアプリ開発

- FireMonkeyを使用したモバイルアプリ開発
 - **マルチデバイスアプリ** (ネイティブアプリ)
 - iOS、Android、Windows(タブレット) いずれのOSにも対応
 - カメラやGPS等デバイス機能の活用
 - 「マルチデバイスデザイナ」により、デバイスに合わせた画面カスタマイズ
 - FireMonkeyの考慮点
 - 各OS固有の機能(API)への直接アクセスは原則不可
 - 特にiOS/Androidは頻繁なOSバージョンアップがあり、それに追随する為には アプリの定期的なメンテナンスが必要 (但し多くは互換性により動作)
 - iOS/Androidの場合、データベースドライバが使用できない為、Rad Serverや DataSnapといった3層アプリフレームワークの組み合わせが必要

■ Delphi/400におけるモバイルアプリ開発

- VCLを使用したモバイルアプリ開発
 - Webアプリ
 - IntraWeb等を使用することで、各種OS上のブラウザから実行できる Webアプリを構築可能
 - デバイス機能の活用は制限され、操作性もネイティブアプリには劣る事が多い
 - VCLフォームアプリ(ネイティブアプリ)
 - 実行デバイスは、Windows(タブレット)に制限される
 - ・ 従来のPC向けアプリと同様の仕組み(C/S型)がそのまま活かせる
 - IBM i への直接アクセスが可能な為、アプリケーションサーバーの設置は不要

今回は、VCLを使用したモバイルアプリについてご紹介!



Windowsタブレットの特徴

í.

Í



Windowsタブレットの特徴

- モバイルデバイスとして、Windowsタブレットを使用するメリット
 - ・ 業務で使用するOfficeが、そのままフル機能使用できる
 - Office以外のPCで使用している各種ソフトも、全て使用できる
 - アプリの同時実行性に優れる(マルチタスク型)
 - 業務に求められるセキュリティが確保しやすい (ドメイン認証が可能)
 - Windows用の周辺機器が、使用できる(接続端子の確認は必要)
 - 用途や予算にあわせて多彩な選択肢がある



Windowsタブレットの特徴

• Windowsタブレットの留意点

Windows PCと同じように使用できるが、
 主にデスクで使用するPCとは実行環境が違う





- 例えば、生産現場や出荷現場等で活用する場合
 - ・ キーボードレスによるタッチ操作での利用となる
 - カメラやQRコードの使用するといったモバイル機能の活用が要求される

今回のポイント

- タブレットに最適な画面サイズの設定
- 独自ソフトキーボードの使用や効率的な入力方法
- カメラやQRコードスキャンの活用術



VCLを使用したWindows タブレットアプリ構築術

2



- PCとタブレットの画面設計の違い
 - PC : マウス操作が主体 → 正確な操作が可能
 - タブレット : タッチ操作が主体 → 指タッチの為、狙ったポイントを外しやすい



Í

1 - 11

- ① 項目自体のサイズやフォントサイズを大きめに設計する
- ② 項目間の余白を広めにとる
- ③ 出来る限り、コンボボックスやラジオボタン等選択を中心とした入力を意識する

第25回 Migaro. Technical Seminar

- タッチ操作の入力項目
 - タブレットモードの場合、通常はWindowsのタッチキーボードを使用
- 画面下部を入力欄が占める • 入力項目をタッチ 項目に合わせた入力種類の選択 • 入力項目1 みがろ 力項目2 操作手順 入力項目3 入力項目4 項目選択 タブレットモードで使用する タッチキーボード 入力種別指定して、文字をタッチ キーボード起動 タッチキーボードアイコン 入力種別選択 (文字、数字等) $\langle \times \rangle$ w е r t У u р q ┙ а S d g h k ? \uparrow b v n m С \odot &123 Ctrl あ >

- Delphiに用意されたタッチキーボードコンポーネント
 - TTouchKeyBoard

Touchicyboard				
🗆 Touch				
TTouchKeyboard				

 フォーム上に直接タッチキーボードが 配置可能な為、キーボード込みでの レイアウト調整がしやすい



1 - 13



- Windowsタッチキーボード、TTouchKeyBoardの課題
 - 項目多い画面でのキーボード領域確保
 - 項目の種類(金額/日付/文字)に合わせたキーボードの選択

入: キ-

- 別ウィンドウで表示可能な カスタムソフトキーボードにより対応
 - キー表示位置の自動調整
 - 項目に最適な入力パッドの作成

にキーホートの選択				へり傾に彼らない11直で キーボードフォームを表示				
	🤓 独自ソフトキーボードの実装						X]
	数値1							
	数值2		7	8	9	BS		
	数值3		4	5	6	全選択		
				2	3	次項目		
-0,			o		-	前項目		

■ VCLを使用したタブレットアプリ構築術 **官**言部 type TfrmKeyBoard = class(TForm) ...(省略)... private カスタムソフトキーボードの作成 キーコードを送信する Private 宣言 } フォームを保持する変数 キーパッドフォームの作成 public Public 宣言 } DeActivateForm: TForm; //入力フォーム end; フォーム生成(OnCreateイベント) キーパッドフォーム設計画面 procedure TfrmKeyBoard.FormCreate(Sender: TObject); ソフトウェアキーボード × begin Tagプロパティに ブ/ TBitBtnのTagプロパティを設定 BS 7 8 g btnKey0.Tag := 0rd キーコードをセット btnKey1.Tag := OrdbtnKeý2.Tag := OrdbtnKey3.Tag := Ord 全選択 4 5 6 btnKey4.Tag := OrdbtnKeý5.Tag := Ord btnKey6.Tag := Ord btnKey7.Tag := Ord ディスプレイの右下位置に 2 次項目 1 3 btnKey8.Tag := 0rd フォームを初期表示 btnKey9.Tag := Ord btnKeyDot.Tag := OrdbtnKeýMinus.Ťag := 0rd(前項目 0 btnKeyBS.Tag := VK BACK; //BackSpace //次の項目へ移動 //前の項目へ移動 := 0; btnNext.Tag btnPrior.Tag := 1;



1-15

第25回 Migaro. Technical Seminar

btnKeyX: TBitBtn

X: 1,2,3...











- カスタムソフトキーボードの作成
 - キーパッドフォームの表示位置制御



1-19

- カスタムソフトキーボードの作成
 - 実行例



- 項目の種類に合わせて最適化した入力欄の作成
 - 日付値と時間値の入力
 - TEdit
 - 入力可能文字の制御や日付/時間妥当性チェックが必要

TDateTimePicker

Win32

- TDateTimePicker
 - 日付選択がタブレットに最適化されない
 - 時間の指定がカスタマイズできない (5分単位入力等)
 - ・ 時間のアップダウン部分が小さく押しにくい



第25回 Migaro. Technical Seminar





19:44:11

アップダウンが押しにくい

1-21

時間

時:分:秒単位での入力

5分おきのような入力不可





入力用フォームの実装例 •

フォーム設計画面

日付入力

時間入力

○ Windowsタブレット向けのVCLアプリケーション作成テクニック

Editコンポーネントの下部に 日付入力フォームを表示 実装部 procedure TfrmEntry.edtCalendarClick(Sender: TObject); begin 1/ カレンダーフォームの起動 frmCalendar := TfrmCalendar.Create(Self); trv frmCalendar.DateEdit := edtCalendar; //日付値をセットするTEditを指定 // Left位置調整 frmCalendar.Left := Self.Left // 画面のLeft位置 + edtCalendar.Left; // EditのLeft位置 // Top位置調整 frmCalendar.Top := GetSystemMetrics(SM CYCAPTION) // タイトルの高さ + Self.Top [日付]: edtCalendar: TEdit // 画面のTop位置 + edtCalendar.Top // EditのTop位置 [時間]: edtTime: TEdit + edtCalendar.Height; // Editの高さ // カレンダーフォームの表示 frmCalendar.ShowModal; finallv OnClickイベントを定義 frmCalendar.Release; end: end;

1-24

時間入力欄も同様の処理を実装 -≫-



第25回 Migaro. Technical Seminar

ReadOnly = True



- カメラの活用
 - TTakePhotoFromCameraAction
 - FireMonkeyのみ(VCLには無い)
 - Windowsでは使用不可



Windows10 スタートメニュー

 Windows10には、「カメラ」アプリがある為、 このアプリを呼び出す事でVCLアプリから カメラの活用が可能



- カメラの活用
 - カメラアプリの呼び出し
 - ShellExeuteを使用

```
uses Winapi.ShellAPI;
procedure TfrmCamera.SpeedButton1Click(Sender: TObject);
begin
//カメラアプリを起動する
ShellExecute(0, 'OPEN', PChar('microsoft.windows.camera:'), nil, nil, SW_SHOWMAXIMIZED);
end;
```

カメラを呼び出しても、撮影されたことがDelphiから把握できない。対処方法は?



第25回 Migaro. Technical Seminar



SpeedButton1: TSpeedButon

🚾 カメラ撮影サン

O

■ VCLを使用したタブレットアプリ構築術 カメラロール カメラの活用 C:¥Users¥[ユーザー名]¥Pictures¥Camera Roll¥ PC > ピクチャ > カメラロール カメラロールを使用 カメラロールに新しいファイルが追加 🏕 クイック アクヤス ■ デスクトップ * された事をチェックして、アプリに反映する。 ➡ ダウンロード WIN 20201202 5 16 36 Pro.jpg ▶ ドキュメント カメラロールのパスを取得 funcion GetCameraRollPath: String 🗊 ピクチャ 目的: カメラロールが設定されたパスを取得 引数: なし 戻値: 取得されたパス function TfrmCamera.GetCameraRollPath: String; var pidl: PItemIDList; [ピクチャ]フォルダーのパスを取得 Path: array[0..MAX PATH] of Char; begin SHGetSpecialFolderLocation(0, CSIDL MYPICTURES, pidl); SHGetPathFromIDList(pidl, Path); Result := Path + '¥Camera Roll'; end; 1-28

- カメラの活用
 - 実装例



1-29



• カメラの活用



- QRコードスキャン
 - VCL、FireMonkey共に、標準ではQRコードスキャンコンポーネントは無い
 - QRコードスキャンのオープンソースライブラリを活用することが可能
 - ZXing.Delphi

https://github.com/Spelt/ZXing.Delphi

マルチデバイスで使用できる QRコードスキャンライブラリ FireMonkeyだけでなく、VCLでも 使用可能



1-32

・ ダウンロードしたライブラリの中にある[Lib]フォルダを

- プロジェクトフォルダの中に配置
- プロジェクトのオプションにて下記を設定
 - 条件定義: USE_VCL_BITMAP (VCLの場合)
 - 検索パス:上記[Lib]フォルダ内の各フォルダをパスに追加





1 - 33





バーコードスキャン用ユニットを追加

1-34

- QRコードスキャン
 - 実装例



//---- バーコードスキャン用ユニット uses ZXing.ReadResult, ZXing.BarCodeFormat, ZXing.ScanManager procedure TfrmBarcode.Button1Click(Sender: TObject); var bitmap: TBitmap; ReadResult: TReadResult; bitmap変数に画像ファイルを読み込む ScanManager: TScanManager; sFileName: **String**; begin bitmap := TBitmap.Create; trv 画像ファイル上のQRコードをスキャン 1/パーコードが撮影された画像を取得 sFileName := Edit1.Text; bitmap.LoadFromFile(sFileName); // QRコードのスキャン trv ŚcanManager := TScanManager.Create(TBarcodeFormat.QR_CODE, nil); ReadResult := ScanManager.Scan(bitmap); //コードがスキャンできた場合、取得値を画面にセット if ReadResult <> nil then begin ListBox1.Items.Add(ReadResult.text); end; finally FreeAndNil(ScanManager);
FreeAndNil(ReadResult); スキャン成功の場合、取得値が ReadResult.Textにセット end finally bitmap.Free; end: end;

- QRコードスキャン
 - 実行例



- QRコードスキャン
 - ライブラリには、PCカメラを 連携してリアルタイムで スキャンするサンプルあり
 - WebCam.dpr

🐵 バーコード/QRコードサンプル



1-36

上記サンプルを元に 作成したアプリ例



1

Í



■ まとめ

• VCLを使用したWindowsタブレットアプリ構築術

- カスタムソフトキーボードの作成
- ・入力項目に最適化した入力欄の作成
- ・カメラの活用
- QRコードスキャン



ご清聴ありがとうございました。

1

